

株式会社 宮崎茶房

＜基本情報＞

所在地：宮崎県五ヶ瀬町

＜農場概要＞

- 14ha：有機JAS認証ほ場 12ha
有機転換期間中 2ha
- 生産から製造・加工・販売までの一貫経営を確立

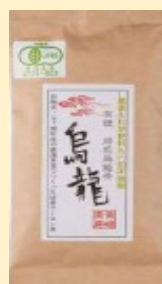


＜有機農業に取り組むきっかけ＞

- 知人の農薬による事故を契機に、前代表が無農薬・無化学肥料栽培の必要性を感じ、五ヶ瀬の冷涼な気候や標高の高い立地条件を生かした有機茶栽培を昭和58年（1983年）開始。
- **平成13年（2001年）に有機JAS認証を取得。**

＜販売について＞

- 有機JAS認証品を販売。釜炒り茶が主体でその他、紅茶、烏龍茶、番茶。
- 販売先はネット販売・直売所・JA等。
- 今後、国内の人口減少による茶市場縮小が考えられる中、更なる**販売拡大を見据え海外輸出にも取り組む**。輸出国はドイツ、ベルギー、チェコ、スイス、カナダ、アメリカ。



【お問合せ先】TEL.0982-82-0211

会社ホームページ<http://www.miyazaki-sabou.com/>

＜病害虫対策・除草対策・土づくり＞

- 病害虫対策
 - ・ 病害虫に弱い品種（やぶきた）から抵抗性のある品種（みなみさやか、はるのなごり等）へ改植中。
 - ・ 施肥量を少なくすることで、病害虫の発生要因となる葉の密生を抑制。（標高約650mで冷涼地のため害虫は少ない）
- 雑草対策
 - ・ 草刈り機と人手による除草。（特に8月～10月）
- 土づくり
 - ・ 畝間に茶の刈り捨て葉を撒き豚ふん堆肥を施用。
 - ・ 追肥は肉かすとごま油かす。

＜苦労しているところ＞

- 有機栽培は除草が重労働になるため、自動草刈り機に関心。

＜現場の課題＞

- 有機栽培茶の流通量が増えることによる価格低下が心配。

＜今後の展開＞

- 消費者・バイヤーのニーズを把握し、販売先を多様化していきたい。また、14ha全てに有機JAS認証を取得し、有機茶の生産量を確保することで、輸出の拡大を目指す。

